

## JSAF 外洋特別規定 2016-2017 (2017 版) Version 0.2 に関して

World Sailing Offshore Special Regulations2016-2017 の適用期間内改訂に伴い、JSAF 外洋特別規定 2016-2017 も改訂を行いました。

運用および主な変更点は以下となります。主な変更点の下記記載はあくまでも説明ですので、実際のレースにおいては規定本文のみが適用されます。必ず規定本文にて確認ください。

### 【運用に関して】

施行日：2017年5月1日

- \* 1. 施行日以降のレースは原則最新版 (Version0.2) を用いて実施ください。
- \* 2. 施行日以降にてもやむを得ず旧版でレース実施する場合、主催者は JSAF 外洋安全委員会まで連絡頂いた上に、参加者に旧版を用いることを明示ください。なお、旧版を用いてのレース実施は5月末までとします。

JSAF 外洋安全委員会メールアドレス anzen-offshore@jsaf.or.jp

### 【2017 版の主な変更点】

#### ■変更点の表記

World Sailing OSR の英語原文は 2017 年版での改訂に加えて 2016 年改訂時の変更箇所も赤字表記されていますが、参考訳文に関しては 2017 年改訂分のみ赤字表記としています。

<主な変更点のポイント> **必ず規定本文で確認ください！**

#### ■1.02.3 および 2.02 インシデントの報告

- ・主催者は Offshore Special Regulations の改善に寄与するインシデントの報告

<変更理由：2016 World Sailing 年次総会報告書より>

「レース中の事故について、World Sailingが事故報告書を作成する際に、選手と主催者らが、事実の把握のために協力し合うことを要件に加える。‘要件’ではなく、‘奨励’として承認」

#### ■4.06 アンカー[カテゴリー3、4]

- ・ロード (チェーンやロープ) と繋がって無くてもよい。
- ・組み立て式のアンカーは分解された状態でもよい。
- ・上記状態から 5 分以内にアンカーが使用できる状態になること。
- ・アンカーメーカー推奨のサイズで改造してないこと。

<変更理由：2016World Sailing 年次総会報告書より> 「実用的なアンカーが直ちに使える状態にあることを求め、OSR インспекターに明確に示すため。現行規則では、アンカー、アンカーロープ、チェーンが繋がった状態での保管と解釈されているが、現実として、小型艇以外では、全てが繋がっている状態だと、デッキに上げることは容易でないので、繋がっ

たものを一度外し、デッキで再度繋ぎ直すといった無駄な作業が行なわれていることもある。また、フォートレスアンカーのように分解できるものも、現行規則では組み立てた状態で保管することをインスペクターが要求するので、場合によっては、アンカーの一部を短くして、保管し易いように改造していることもあるが、アンカーの性格上、改造を施した場合、性能が発揮できないことになる。この手のアンカーは、分解した状態から組み上げるのを僅かな時間で行なえるので、分解した状態で保管することに問題はないはず。以上のことから、アンカーの要件を変更し、‘改造していないアンカー’、‘ヨットの大きさに応じたアンカー製造者の推奨するサイズ’、直ちに使えるではなく、‘直ちに組み、3分以内（注：規定改訂では5分に変更）に展開できる’などの文言が盛り込まれるものとして承認」

#### ■5.01 ライフジャケット[カテゴリー0、1、2、3]

- ・予備シリンダー（ボンベ）を少なくとも1個搭載。
- ・できれば、予備のアクチベーションヘッド（スプール）を搭載すること。

＜補足＞日本で一般的にボンベと呼ばれているパーツは英語では cylinder です。参考訳には括弧表記でボンベとしています。また、通称ではセンサーと呼ばれる自動膨張式の感知パーツは英語では activation head です、参考訳では日本メーカーなどが取り扱い説明書や点検説明書に使用しているスプールを括弧表記しています。

#### ■5.02.2 テザー[カテゴリー3]

・現状は乗員の30%が中間フック付きか1m以下のテザー。→ 2018年1月1日からは全乗員が中間フック付きに変更。

＜変更理由：2016 World Sailing 年次総会報告書より＞「全てのクルーが短いもしくは長いテザーラインを持つことを要求し、クルーがデッキにいる時に常にデッキに確保されていることを可能にする。長さ2m以下のテザーのみ全てのテザーにミッドポイントスナップフック、オーバーロードを受けたテザーの交換、等を盛り込む。」

＜補足＞現状、中間フック付きのテザーが流通していることは確認できていません（通称ダブルと言われているテザーは短い方が1m以下であって、中間フック付きでは無い）。過去の規定改訂においてもこういった予告がありながら、実際の改訂時に適用時期が延期になる、表現が変わる、といった場合があります。2018年の改訂時に改めて確認ください。

＜内容変更では無く誤記や表現の改訂＞

#### ■3.14.6 ライフライン[カテゴリー4]

・改訂前版はモノハル4、マルチハル0, 1, 2, 3, 4でステンレスワイヤーが使えないように読み取れる記述になっているがこれは間違いで、当該カテゴリーはステンレスワイヤーとHMPEの使用可。

＜補足＞記述の訂正であって内容変更では無い。モノハル0, 1, 2, 3はステンレスワイヤーのみ使用可。

■4.22 乗員落水特定と救助[カテゴリー3、4]

・タイトルの変更

＜変更理由：2016 World Sailing 年次総会報告書より＞「現行規則で分散している落水者特定設備と回収の要件項目を、一つの項目 4.22 にまとめ判り易くする。」

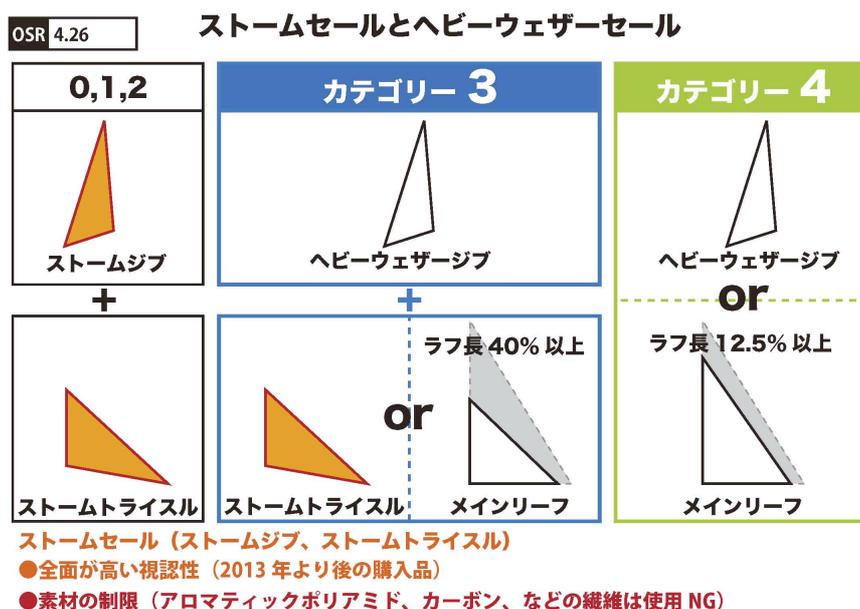
＜補足＞カテゴリー0 や1 で要求される落水者位置を特定する PLB やパーソナル AIS などの項目がここにまとめられている。

■4.26.1a) ストームセールの色[カテゴリー\* \*]

・表現の変更のみで内容変更では無い

＜変更理由：2016 World Sailing 年次総会報告書より＞「規則書き換え作業で、意味が変わってしまった部分の訂正。現行規則では、目立つ色がセールの一部で構わないと解釈できるので、セール全体の色という記述に正す。」

＜補足＞全カテゴリーに適用（\*\*）項目であるが、そもそもストームセール（ストームジブとストームトライスル）の内、ストームジブはカテゴリー0,1,2 のみで要求される。ストームトライスルはカテゴリー3 で要求されているが通常メインセールのリーフ（40%以上）で置き換えられる。カテゴリー4においては、ストームセールの要求はない。



■1.01.3 本文中の用語の定義に Primary Launch（プライマリー進水）が追加

＜その他＞

World Sailing Offshore Special Regulations2016-2017 の改訂では無く、翻訳版に以下の2項目が抜けていた為追加。

4.21 f) Grab Bags グラブバッグ（持ち出し袋）

5.02.3 過負荷状態になったテザーは交換しなければならない

以上